

学校名 [長町南小学校]

氏名 [大友 いほ子]

[小] 学校 [4・5・6] 年版 単元名 [災害から身を守るために] P32～33

教科・領域名 [学級活動] [時間 45分]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

1 絵の中の危険箇所を挙げる。

この絵の中にある、「危ないところ」を見つけよう。また、その理由も考えよう。

- ・道路で、ボール遊びをしない。車がきているから危険。
- ・暗い道や人通りの少ない道は危険。
- ・物陰に悪い人がいそうだから気をつける。

2 自然災害について話し合う。

- ①大雨の時に気を付けること。
- ②雷が鳴った時に気を付けること
- ③「竜巻かも」と思ったら。

- ①②③急いで家に帰る。
- ①②建物の中へ入る。雨宿りをする。
- ②木の下にいない。建物の中に入る。
- ③安全で丈夫な建物の中に入る。
- ③風が吹いてくる方向へ逃げない。

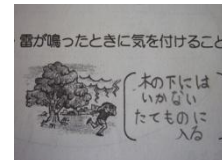
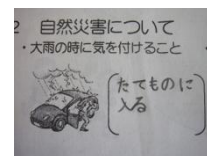
いずれの場合も、頑丈な建物に入りましょう。

3 「防災家族会議」を開こう・危険なところ安全なところチェックカードの記入の仕方について知る。

- ・地区ごとの地図を持ってチェックする。
- ・社会の学習で確認した「一時避難所」になっている公園などを確かめる。
- ・子どもだけで留守番をしているとき、どうすればよいかきちんと話し合っておく。

3. 11の担任の体験談：学校の児童最優先のため、自分の家には帰れず、先生の子供は、前から約束していた友達の家にお世話になった。

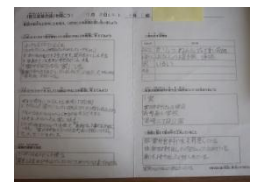
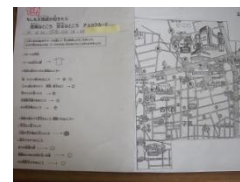
・ワークシートの絵に印をし、ペアで話し合う。



児童からの質問

- ①キャンプに行っているときは？
→ 車で崖や川の近くから遠ざかる。
- ②学校の中庭に高い木があるが雷は落ちないか心配 → 窓から見える校舎の屋上に避雷針があるから大丈夫。

*引渡訓練後、下校しながら保護者と一緒にチェックをする。



*このチェックカードを使用して、9月に縦割り防災集会を開きました。

縦割り防災集会活動

	主な活動内容	留意点	資料
10:45 10:48 7分	<p>*メンバー確認</p> <p>1 通学途中に地震が起きたらどうすればよいかを知る。</p> <p>(1) DVD視聴(3分38秒) (放送室より一斉に流す)</p> <p>(2) ポイントを確認する。 (担当の先生)</p>	<p>『落ちてこない 倒れてこない 移動してこない』場所に</p> <p>自助 自分の身を守る 共助 低:周りの人と一緒に 中:考えて行動 高:進んで行動</p>	<p>DVD 文部科学省 『安全に通学しよう』 ～自分で身を守る,みんな で守る～ 災害安全(防災) 地震のとき1～3年</p>
10:55 15分	<p>2 リーダーを中心に自分たちの地区について話し合い,確認する。</p> <p>(1) 通学路で危ないところを確認する。 (2) 地域の公園など安全なところを確認する。 (3) コンビニ,ガソリンスタンド等,困った時に助けとなるところを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自が記入した防災マップを持ち寄り,参考にしながら話し合わせる。 各教室で,カラーペン(赤・緑)マグネットを用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップ(個人) 掲示用 防災マップ(拡大)
11:10 15分	<p>3 「防災かるた」で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2グループに分かれて行う。 6年生・・・1年生のお世話, 5年生・・・読み札を読む, 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年がリーダーとしての意識を持つことができるようにする。 同じ地区のみんなと仲良くなるように声を掛ける。 できたら,カルタの内容にも心が向くように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス備え付けの防災カルタ
11:25 5分	<p>4 まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の友達と声を掛け合い助け合う。 地震が起きたときは,自分で身を守る。 安全な場所,危険な場所を覚えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 終了後,書き込んだ拡大マップを1階廊下に掲示する。

新防災教育副読本 1・2・3・年版

単元名「ひなんのしかたを考えよう」 P30-31

「ぼうさいマップを作ろう」 P28-29

「ぼうさいリュックを用いしよう」 P36-37

4・5・6・年版

「家族防災会議を開こう」 P36-37

「災害が起きたら」 P30-31